

国際リニアコライダー（ILC）に関する有識者会議  
技術設計報告書（TDR）検証作業部会報告（H27.3）抜粋

**1. 本部会で聴取した ILC 計画の見積りの概要**

（前提条件）

仮想通貨「ILCU」を置いて設定。ILCU は 2012 年 1 月現在の購買力平価を基に、1ILCU = 1 米ドルを基準としている。

国際入札を考慮して「1 ユーロ = 115 円、1 ドル = 100 円」を仮定して日本円へ換算した金額は以下の通り。

また、労務費は TDR 上では人時で換算されているものを金額へ換算している。

（1）本体建設費 9,907 億円（TDR 記載項目）

（内訳）

土木建築	1,600 億円（工事費）	}	8,309 億円
加速器本体	6,709 億円（超伝導加速空洞・設備費等）		
労務費	1,598 億円（=22,892 千人時（TDR では金額換算はされていない））		

（2）測定器関係経費 1,005 億円（TDR 記載項目）

（内訳）

測定器本体	766 億円
労務費	239 億円（=3,651 千人時（TDR では金額換算はされていない））

（3）その他付随経費（TDR 未記載項目）

- ・ 準備経費（設計費用のほか、人材養成・技術移転関連経費等）
- ・ 土地取得経費
- ・ 上記の他、海外研究者の生活環境の整備、アクセス道路、ライフライン等のインフラ、計算機センター等の経費

（4）不定性相当経費 建設経費の約 25%（TDR 記載項目）

※不定性：コスト見積りの精度に関するもののみを指し、技術リスク、工事期間の延長リスク、市場リスク等に伴うコスト増加分は含まれない。

（5）年間運転経費 491 億円（TDR 記載項目）

（内訳）

光熱水料、保守	390 億円
労務費	101 億円（=850 人／年（TDR では金額換算はされていない））

なお、実験終了後の解体経費に関しては、現時点で算定されていない。